

## カラコルム フーシェ谷トレッキング

### 【BC に向けてテント泊 降雪で停滞】

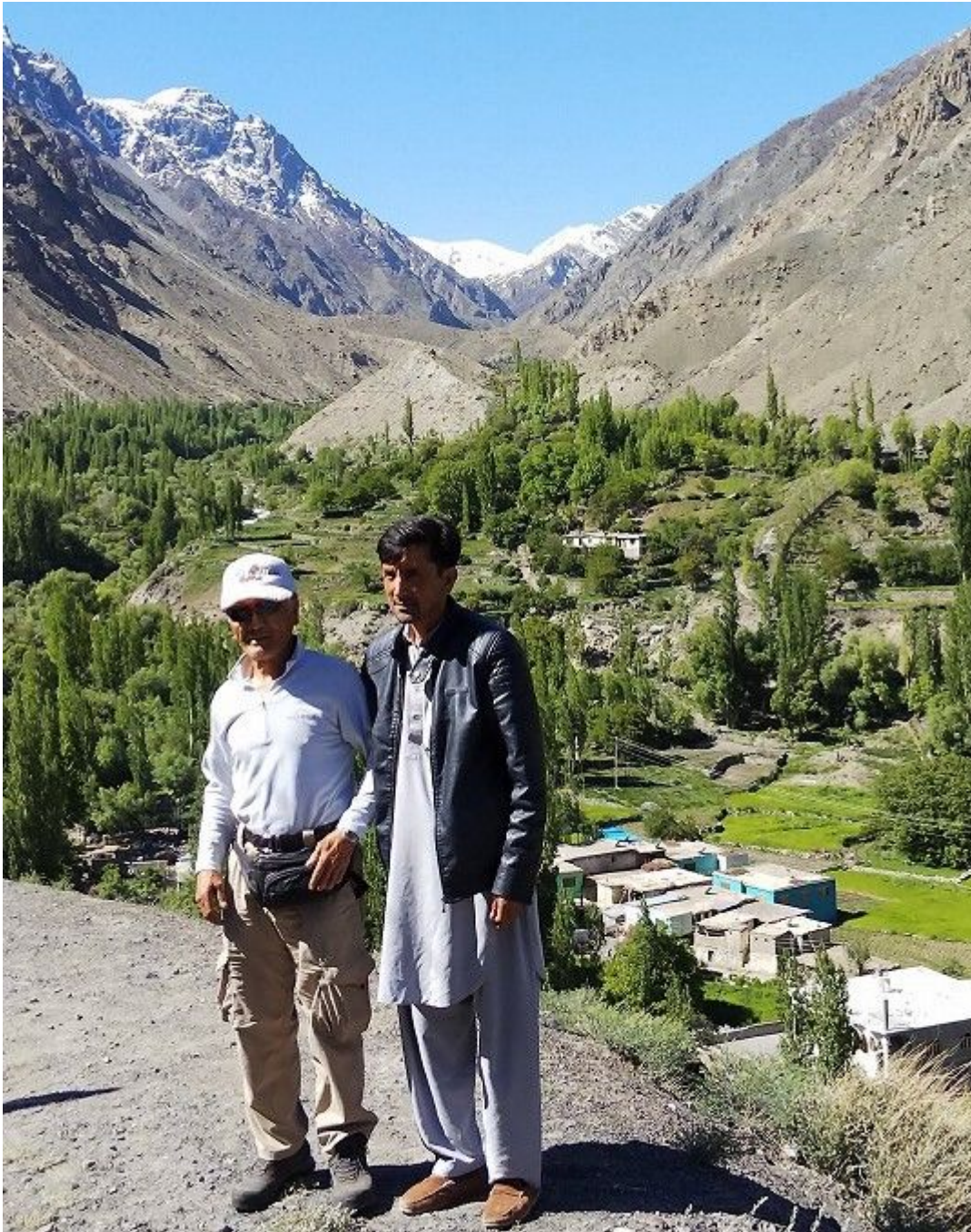
6月2日 曇り ドムスン テント泊

5時起床 コーヒーを飲みながら血圧や体温を測る。森さんと村を散歩。出会った女性や子供に100均のソーイングセットやマニキュアをあげる。朝早いけど畑に水を引くためにシャベルみたいなものを持って働いている。村を歩いているとレンガを作っていた男の人たちが「モリサン、モリサン」と声を掛けてくる。



朝食には甘食みたいなものがでた。アプリコットオイルを目玉焼きにかけて食べる。ハチミツをお湯に溶かして飲むと美味しい。

9時頃自分の身の回りのもの（水やおやつ）だけ背負って出発。すれ違う村の子供に森さんがお菓子をあげる。村を抜け、吊り橋を渡り畑の脇を通り緩やかな道を歩いていく。後から出発したポーターさん達にすぐ追い越される。



11 時 40 分この日のテント場ドムスンに着く。標高約 3300m。  
お茶をいれてもらい一息つく。13 時頃昼食のラーメンと Pasta、薄味だけど美味しかった。食後テントで休憩。高度順応のため寝てはいけなないのでゴロゴロする。  
テントのすぐそばを放牧中の牛が通る。  
ここは岩場が多く鳴きウサギの姿をちらりと見る。19 時夕食。ピラフ、なすとじゃがいものカレー、鶏の焼いたものデザートのスイカ。  
どれも美味しいけど香辛料が辛くてたくさんは食べられない。

食後雨が降り始めたので早々にテントに戻り寝る。

### 6月3日雨のち晴れ ブルンブラマン（標高約 3800m）テント泊

5時30分目覚めのコーヒーを飲む。朝食後8時出発。

この日は昨日より登りはきつめ。モレーンを歩く時ポーターさんが連れてきた口バもさずが歩きにくらしく、ここでは人が荷物を持っていた。

名前も知らない見すごすくらい小さな花が咲いていた。

標高が高いのでかなりゆっくり歩く。



12時頃この日のキャンプ地ブルンブラマン（標高約 3800m）に到着。

予定では今回の旅の目的地マッシャーブルムのBCまで行くはずだったが、体調や歩くスピードを考えてここにテントを張ることになった。



落ち着いてからテントで高山病症状調査のため血圧やパルスオキシメーターで血中酸素濃度を測る。その後昼食のラーメンを食べてテントで荷をほどきゆっくりする。雪が降ったり止んだりする合間を見計らって稜線に登りテント場の全景を写真に収める。夕食の準備中キッチンテントでチャパティを焼くところを見せてもらい出来立てを食べる。

#### 6月4日雪 ブルンブラマン（標高約3800m）テント泊

朝お祈りの声がある。テントを出ると一面の雪景色。予定ではBCに行くはずだったがここに滞在することに。朝食に日本から持ってきた味噌汁を食べる。

食後寒いのでコンロを持ってきてもらいお湯を沸かして暖をとる。

食堂用のテントで皆と色々な話をして過ごす。リニアのトンネル問題やソーラーパネル設置問題、山のトイレ問題、災害時のボランティアの話などを聞く。

#### 6月5日雪のち曇り時々晴れ雨 ブルンブラマン（標高約3800m）テント泊

この日も朝起きたら一面真っ白。前の晩はさらにレインウェアまで着込みシュラフに潜りこんだので寒くはなかった。結局この日もここに滞在。



テントでまったりしているとちょっと晴れ間が見えたので、外に出て小川に沿って歩き宝石の原石を探す。

が、そう簡単に見つかるわけもなく水辺に咲いている花の写真を撮る。

午後不安定な天候の中、集めてきた枯れ木で焚火を囲みながら、ポーターやガイド達と歌ったり踊ったりした。





6月6日雪のち晴れ 今朝も雪 ブルンブラマン（標高約3800m）テント泊  
体調がすぐれない1名とガイドが一日早くフーシェまで下山することに。  
私たちはBCを目指し出発。稜線に出てナイフリッジを歩いたがその先のトレースが危  
なそうなので引き返すことにする。天気も段々悪くなって来る。  
結局一時間くらい歩いて元のキャンプ地に戻ってきた。  
お昼はマルタイ棒ラーメンにワンタンをいれて食べた。  
隊の半分が下山し残ったのは6人。寂しくなったキャンプ地での最後の晚餐はバーモン  
ドカレー辛口のチキンカレーだった。

